

カリフォルニア大学バークレー校にて物理の研究をしております、森亮です。簡単に近況等をレポートさせていただきます。

## 1. 近況

夏前に某ポスドクワークショップに招待されました。僕は個人的に学会とかワークショップなど、そういうのはあまり現時点では好きではありません（むしろ嫌い）。そもそもで口頭発表なんて緊張するからやりたくないし、今回も気持ち的には行きたくなかったのですが、いい感じのレベルで研究をしているポスドク達がたくさん来る感じだったので、そういう人たちを見てみたいなっていう興味が勝り参加を決めました（えらい）。

ワークショップ自体は、ボストンから車で1時間弱離れた割と郊外にある某街の某ホテルで4-5日間ほど催されました。まあいくら郊外でも何かあるだろうなっていう気軽な気持ちでいったのですが、行って見たらまさにmiddle of nowhere。周りには何もなくて、朝起きて、研究発表をして、合間合間にご飯を食べて、また起きて…という割とストイックなワークショップでした。そういうストイックさは正直しんどかったのですが、当初の期待通り皆さんとても面白い研究ばかりしていて、とてもいい刺激になりました。自分の進路のことも含めて、とても参考になりました。

最近卒業後の事を指導教員と相談します。僕はバリバリポスドクをやる気なのですが、その際に気をつける事、どういう風に分野を選ぶか、などとてもソレっぽく事をソレっぽく語ってくれます。僕自身、PhDでは最初ラボ選びに失敗しているので、ポスドクではミスらないように気をつけたいです（結局相性の問題が一番大きいので、やってみなきゃわからないことが多々ありますが）。

## 2. 雑感

最近、なんだか当たり前すぎることにわざわざ大層な名前をつけてはものすごい事っぽく語って大衆の不安を煽る事を生業としている人々が目につきます。例えば「リーダーシップ」とか「イノベーション」とか「ウィル」とか、そういうヤツです。いや、別に言葉や概念自体は悪くないし、もちろん重要さも理解できるのですが、なんだか過剰にもものすごい事と捉えられすぎている気がします。大体の人が当たり前に既に無意識に行なっている事に、あえて横文字を使用して口うるさくいうことで、まるでそれが特別な能力かのように捉えられるのです。そもそもわかりやすいようでボンヤリしているそいつらを語るだけで自分は何も生み出さないって感じ、キツイですよ。そういう言葉や虚像に気をつけて生きていきたいもんですね（何かあった）。